

下関市立大学都市みらい創造戦略機構は、地域の産業活動及び地域社会の向上に寄与するため、地域の課題について産業界や行政等の学外機関と情報を共有し、学術的観点からその課題解決にあたります。



### ごあいさつ

下関市立大学都市みらい創造戦略機構は、お陰様で3年目の運営を終えることができました。2023年度の社会は、ようやく平時の経済活動を送ることができたように感じられます。しかし、社会全体の動きは、コロナ禍以前から大きく変化しました。例えば、私たち一般の人々の目で見ても、社会全体のデジタル化が加速していることは明らかです。その背景には、少子高齢化に伴う人口減少により、人々の生活の営みに変化が起き始め、これまで人間の脳や身体で行われていたことが、ロボットや機械にとって代わってきていることがあります。これによって、見慣れた地域の風景の中でも、その内部構造は徐々に変化してきました。本機構にとって今年度は、さまざまな活動を通してこのような変化を肌で感じるとともに、次のフェーズに対応できる地域社会のあり方について考える1年となりました。

今年度は、本学の教員による公開講座や国際共同研究報告会を開催したり、学生が「デジコンしものせき」に参加して輝かしい成果を収めたりするなど、様々な動きがありました。その中でも、学内研究発表会「都市みらいフォーラム」を昨年度に引き続き開催できたことは非常に印象深い出来事となりました。今回の都市みらいフォーラムのテーマは、「地域の観光」でした。研究発表では、本学が北九州市立大学と共同で実施している「関門地域共同研究」を中心に、5人の教員による「明治・昭和時代の下関市の鉄道」、「多文化共生教育」、「くじら産業」、「ゲーム理論」、「関門地域の回遊性」をテーマとした研究成果報告が行われました。今回の研究発表会では、同じ「観光」というテーマでも、研究者の見方・考え方によって研究の切り口が全く異なるという点が非常に興味深く感じられました。また、それぞれの研究の成果は、過去の出来事を普遍的な事実として受け止めて未来へ向けての参考にすることや、過去から現在につながる物事の経緯とその構造を知ること、未来に起こるであろう出来事に対する心構えを示していることを改めて実感しました。これは、私たち人間は社会構造が変化しても、それに順応していく能力を持ち合わせているということを表しています。つまり研究活動は、社会の変化に対応する人間の行動変化を形として表す大切な役割も担っているといえます。

下関市立大学都市みらい創造戦略機構はこれまで、地域の皆様・産業界・行政機関、本学の学生や教職員の方々が地域連携を促進・活発化していくためのお手伝いをして参りましたが、2023年度をもってその役目を終えることとなりました。

しかしながら、本学の公立大学としての今後の地域連携活動につきましては、引き続き皆さまのご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

下関市立大学都市みらい創造戦略機構  
機構長 竹内 裕二



公立大学法人

# 下関市立大学

Shimonoseki City University

Shimonoseki City University, Institute for Future Urban Creative strategy(SIFUC)

## ●市民大学公開講座（春学期）

## 《応用ミクロ経済学（開放授業）》

～ミクロ経済学で日常を楽しくしよう

全15回 毎週火曜日

日時：2023年4月11日～7月25日

9:00～10:30

講師：石井 良輔 経済学部 准教授



## 《戦前の地図にみる下関・門司の街》

～関門地域の運命を決めた関門連絡鉄道

全1回 水曜日

日時：2023年6月14日 18:30～20:00

講師：砂原 雅夫 経済学部 特命教授



## 《情報的健康と憲法》

～『デジタル空間とどう向き合うか』輪読

全6回 毎週水曜日

日時：2023年6月21日～7月26日

18:30～20:00

講師：大野 悠介 経済学部 准教授



## 《気になる子どもの理解と関わり方》

～今こそ、先生方や保護者に伝えたいこと

全1回 土曜日

日時：2023年6月24日 14:00～16:00

講師：金原 洋治 かねはら小児科医院 院長



## 《時を超えた“おたがいさま”が

## 医療人を育てる》

～模擬患者としての活動を通じた社会貢献

全1回 水曜日

日時：2023年6月28日 14:00～15:30

講師：中嶋 恵美子・塚原ひとみ

新学部設置準備室 特命教授





## ●市民大学公開講座（秋学期）

## 《西洋中世都市をめぐる旅》

～資本主義の源流を探る

全1回 水曜日

日時：2023年10月2日 18:30～20:00

講師：藤井 美男 経済学部 特命教授



## 《Looking at the News in English》

～ Discussing and reading about news  
and current events in English

全5回 毎週火曜日

日時：2023年10月10日～11月7日

18:10～19:40

講師：Collett Paul 教養教職機構 教授



## 《知って得する糖尿病のは・な・し》

～糖尿病の予防と改善のためにできること

全1回 金曜日

日時：2023年10月20日 18:30～20:00

講師：古庄 夏香 新学部設置準備室 准教授



## 《助産師から学ぶ家庭でできる性教育》

～あなたは思春期を迎えた子どもの  
"性"にどう向き合う？

全1回 水曜日

日時：2023年11月8日 18:30～20:00

講師：石村 美由紀 新学部設置準備室 准教授



## 《大学への憲法学》

～大学で学ぶ憲法学・(再)入門

6講義 毎週月曜日

日時：2023年11月13日～12月18日

18:30～20:00

講師：大野 悠介 経済学部 准教授



## 《健康に良い「くじら」!?(開放授業)》

～鯨油・鯨肉の知られざる効能と最新の研究

全1回 金曜日

日時：2023年12月1日 10:40～12:10

講師：岸本 充弘 経済学部 特命教授



## ● 下関市生涯学習まちづくり出前講座

## 《おもしろ算数「体験」教室》

～身近な算数を体験しよう

日時：2023年7月28日～8月17日

※全8回実施

講師：佐々木 淳 教養教職機構 准教授



## 《おもしろ算数「クイズ」教室》

～クイズを通して算数を体験しよう

日時：2023年8月18日

講師：佐々木 淳 教養教職機構 准教授

## 《ワーク・モチベーション》

～モチベーションの理論について

日時：2023年11月22日

講師：村田 和博 経済学部 准教授



## ● 関門地域共同研究会

2023年度で30周年を迎えた関門地域共同研究会では、「関門の観光」をテーマとした以下の6つの研究論文を収録した「関門地域研究 Vol.31」を発行しました。

「関門地域の観光に焦点を当てた現状整理と課題についての考察」

竹内 裕二 下関市立大学 経済学部 教授

「大正・昭和初期の関門地域の地方鉄道・軌道における観光輸送の位置づけに関する一考察」

砂原 雅夫 下関市立大学 経済学部 特命教授

「くじら産業の街・下関市、北九州市を巡る」

—新たな観光ツアー商品開発の可能性を探る（北九州市編）—

岸本 充弘 下関市立大学 経済学部 特命教授

「関門海峡の観光に関する域外住民の意識の推移」

南 博 北九州市立大学 地域戦略研究所 教授

「関門地域の自転車利用促進に向けた課題」

—サイクリングイベントの調査結果から—

内田 晃 北九州市立大学 地域戦略研究所 教授

坂口 月香、大鋸 亜依 北九州市立大学地域創生学群 学生

「門司港エリアにおけるフィールドワーク&ワークショップ連動型・探究プログラム

「あるこう！もじこう！」の実施報告」

小林 敏樹 北九州市立大学 地域戦略研究所 教授

高嶋 瑞、岩下 みずほ、中島 花凜 北九州市立大学地域創生学群 学生





## ●国際共同研究

## 《国際共同研究報告会》

日時：2023年7月18日 15:30～16:30

会場：I-201 教室（本館I棟2階）

竹内都市みらい創造戦略機構長が2022年度より韓国の大邱大学と共同で進めている研究に関する報告会を開催しました。

報告会で竹内機構長は、日本と韓国間の新しい航路の可能性、特に下関市が日本の受け入れ都市となる可能性について、昨年度までの研究成果を発表しました。



## ●都市みらいフォーラム ～地域の観光～

日時：2024年1月11日 13:10～15:50

会場：下関市立大学 本館I棟I-206 教室

内容：教員研究発表

「明治・昭和戦前期の旅行案内にみる  
鉄道による関門地域の観光客輸送」  
砂原 雅夫 経済学部 特命教授

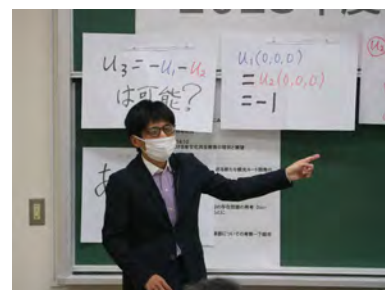


「下関市における多文化共生教育の  
現状と展望」  
石川 朝子 教養教職機構 准教授



「くじら産業の街・下関、北九州を  
巡る新たな観光ルート開発の  
可能性を探る」  
岸本 充弘 経済学部 特命教授

「不連続ゲームでの混合戦略均衡の  
存在問題の再考：Dasgupta and  
Maskin 1986) をもとに」  
石井 良輔 経済学部 准教授



「関門地域の観光の現状整理と  
課題についての考察  
—下関市側を事例として—」  
竹内 裕二 経済学部 教授  
(都市みらい創造戦略機構長)



## ●デジコンしものせき

下関市内の学生や社会人など若者を対象とした下関市スマートシティ推進協議会主催のイベントに、本学の学生も多数参加しました。

今年度は、「子どもの居場所づくり」をテーマに、本学学生 9 名を含む市内の大学生や社会人が 5 つのグループに分かれて、課題解決からアプリ開発までの取り組みについて発表しました。

審査の結果、本学学生 3 名と梅光学院大学の学生 1 名のグループが最優秀賞を獲得しました。

最優秀賞：チーム C「ココミーツ・コネクション」  
～食堂からつながる出会い～

優秀賞：チーム D「みんなで、自分で、明るい未来へ！」  
「みちび校」

せきまる賞：チーム E「朝トークー好きな人との  
5 分間ー」



日時：2023 年 7 月 23 日（日）（キックオフイベント）  
～ 2024 年 1 月 20 日（土）（最終審査）

場所：本学、下関市生涯学習プラザ

## ●下関市選挙啓発サポーター支援事業

下関市には「20 代の世代別投票率をトップに！」の目標の下、若年層の投票率向上のため、選挙管理委員会と共に啓発活動などに取り組んでいる「下関市選挙啓発サポーター」という、下関市内在住の大学生を中心とした団体があり、本学の学生も参加しています。

下関市選挙啓発サポーターの学生 3 名が、衆議院山口 2 区・4 区補欠選挙を 10 日後に控えた 2023 年 4 月 13 日に、山口放送の取材を受けました。

日頃から投票率向上のための様々な啓発活動を行っている選挙啓発サポーターの学生たち自身が、選挙や政治についてどのような考えを持っているのか、市民がより政治に関心を持ち、積極的に選挙に参加する社会を創つくるにはどうしたらよいかなど、インタビュー形式で意見を語りました。



## ●下関市スマートシティ推進協議会

下関市がスマートシティへの取り組みをより加速することを目的に設立した「下関市スマートシティ推進協議会」に参加し、市民中心のスマートシティの実現に向けて、施策の選定やアドバイスを行っています。



### ●テレワークを活用した地域課題解決事例の創出に関する実証事業

総務省が実施する「テレワークを活用した地域課題解決事例の創出に関する実証事業」として採択され、株式会社 PASONA JOB HUB が中心となって取り組んだ本事業のコンソーシアムに本学も参画しました。

竹内都市みらい創造戦略機構長が本事業の協議会に出席し、コンテンツのひとつである「テレワーク体験プログラム in 豊北」における成果報告会で講評者を務めました。



### ●KARASTA. 協議会

下関市より「創業支援型地域活性化事業」の委託を受けている、株式会社リージョナルマネジメント運営の創業支援カフェ「KARASTA.(カラスト)」の協議会に参加しています。

2023 年度は3回の協議会に出席し、地域活性化に関する情報交換を行ったほか、「創業塾」受講者のピッチ大会に参加しました。



### ●下関くじらスクール寺子屋編

2021年10月に本学の鯨資料室を長府庭園二の蔵に移転したことに伴い、これまで夏休みに学内で開催していた「くじらサマースクール」を、今年度は7月30日(日)長府庭園にて、市内在住の小学生および保護者を対象にした体験学習イベント『下関親子サマースクール』を、長府庭園、株式会社ケーブルネット下関(J:COM 下関)及び下関市立大学の共催、下関市教育委員会後援で開催しました。

本イベントでは、本学のくじら博士・岸本充弘特命教授による、くじらの生態や下関とくじらの関係について学ぶ「下関くじら教室」と、佐々木淳准教授による、数字の成り立ちや便利さなどについて学ぶ「おもしろ算数教室」の2つの講義が行われました。どちらの講義もクイズ形式で行われ、参加者はユニークな問題に親子で取り組んでいました。

講義のほかにも、岸本先生による解説で長府庭園内の鯨資料展示室を見学をしたり、お抹茶とお菓子を楽しむ茶道体験もあり、盛りだくさんの内容となりました。



# 都市みらい創造戦略機構の活動の概要

## 地域調査研究活動

### 1. 地域課題(産官学)研究

研究成果は成果報告会で公開するとともに、定期刊行物に論文として掲載し、山口県大学共同リポジトリ『維新』にてWeb公開します。

### 2. 関門地域共同研究

北九州市立大学との共同研究で、行政区間を超えた「関門一体」を研究対象にするというユニークなものです。両市と双方の市立大学の方向性が一致し、1994年に研究会が発足し、2024年度で30周年を迎えます。

定期的に運営委員会を開催し、研究テーマや共同研究の進め方について協議を行っています。

毎年度、研究成果を年刊『関門地域研究』として公刊するとともに、成果報告会を開催しています。

### 3. 受託調査研究

地域課題について調査研究の依頼があれば、プロジェクト化の可能性を図り、受託できるよう対応いたします。

## 地域連携活動

下関の市民・産業界・行政・他近隣の高等教育機関と連携し、地域が求める人材の育成のための支援を行います。

また、地域の課題を把握し、解決のヒントや地域が求めるタイムリーな情報を提供することに努めます。

### 編集後記

2023年度は、新型コロナウイルス感染症の位置づけが、これまでの新型インフルエンザ感染症等から5類感染症に変更され、対面での教育活動が解禁し、公開講座や地域研究もコロナ以前に戻りつつあります。気付けば中期計画は終盤に差し掛かり、計画の実現に向け推進力となるよう自分自身を鼓舞してきた1年でした。

2024年度は、データサイエンス学部の1期生が入学し、2025年度には看護学部(仮称・設置認可申請中)の開設が予定されています。今後、地域連携の重要性が高まってきますので、引き続き下関市立大学をよろしくお願いたします。

都市みらい創造戦略機構長補佐 小山 英

## 地域教育活動

2024年度開講予定の講座等です。詳細は本学のWebサイトで随時ご案内いたします。

### 市民大学

#### ●公開講座 ●開放授業 ●出前講座

※市民大学をきっかけにさらに本格的に学ぶ意欲をお持ちになられた方には、本学で2020年度から設置されているリカレント教育センターで様々な学習プログラムが開講されておりますのでぜひご参照ください。

(URL: <https://www.shimonoseki-cu.ac.jp/recurrent/>)

上記リカレント教育センターWebサイトURLのQRコードはコチラ→



## 資料室関連

本学が所有する鯨資料等について、より広く市民や下関に来られた方にご覧いただくため、また、下関市の歴史や文化を感じていただける機会を創出するため、2021年10月1日より長府庭園二の蔵(下関市長府黒門東町8-11)にて鯨資料展示室を開室し、一般公開を始めました。

都市みらい創造戦略機構は、下関を象徴する鯨、フグに関する様々な情報を発信し、地域に貢献していきます。



## 都市みらい創造戦略機構地域連携ニューズレター Vol.3

発刊/2024年3月29日 発行/下関市立大学都市みらい創造戦略機構(地域連携課)



MAIL



Web

〒751-8510 山口県下関市大学町二丁目1-1

MAIL [chiikirenkei@shimonoseki-cu.ac.jp](mailto:chiikirenkei@shimonoseki-cu.ac.jp) TEL 083-254-8613 FAX 083-253-1622

Web <https://www.shimonoseki-cu.ac.jp>